

平成 29 年度知事定例記者会見[抜粋]

平成 29 年 7 月 13 日 知事定例記者会見[抜粋]

○NHK

九州新幹線の長崎ルートに関係ですけれども、あした技術評価委員会をやりますけれども、それに先立って、現在の状況としてちょっと厳しいという声も聞こえてきていたりだとか、JR九州のほうでは消極的な発言もあつたりとかするわけですがけれども、今の時点でフリーゲージトレインの今までの計画どおりの導入がちょっと難しそうだという空気になっていると私は理解していますけれども、それについて知事がどう感じているのかということと、国やJRに対してどういう姿勢でこれから臨んでほしいかということをお伺いできますか。

○知事

まず、私の中で頭がいっぱいなのは、平成 34 年度の暫定開業は決まっています、このときにどれだけ武雄や嬉野に多くの光が当たって、多くのお客さんに来ていただけるのかということで、これをしっかりやっていくことだと思っています。

そのときには、もちろん我々としても全力でやりますけれども、地元として特にソフト対策をどうするのかということが重要だと思っています、これをまず懸命にやっていきたいと思っています。

国との関係においては、技術評価委員会の評価を見るということなんですが、特に 14 日、軌間変換技術評価委員会が開催されて、そこで一定の報告がなされると思いますので、そうした評価を注視したいと思っています。